

第1学年1組 国語科

単元名：よんでほしいな！「むし大はっけん」  
「わたしのはっけん」

指導者 清水 智恵

児童の願い

自分のお気に入りの虫の様子を、みんなに知ってもらいたい。



ゴール

自分のお気に入りの虫の様子を観察し、発見したことを文章にし、「むし大はっけん」にまとめる。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・身の回りの虫の様子を観点を明確にして観察し、気づきを深めながら文章に書きたい事柄を進んで集めようとしている。	・身の回りの虫の様子を観察して、文章に書きたい事柄を進んで集めようとしている。
【思考力】	・多面的に観察して気付いたことを、相手によく伝えることを意識してメモに書いたり分類したりしている。 ・観察したことがよく伝わるように、言葉を補ったり直したりしながら観察したメモをつないで、文章にまとめている。	・多面的に観察して気付いたことを、メモに書いたり分類したりしている。 ・観察したメモをつないで、文章にまとめている。
【自己理解】	・観察したことを記録することで気づきを深めることや伝えた人の気づきも深めることができるよさに気付いている。	・観察したことを記録することや人に伝えることができるよさに気付いている。

本単元で付けたい力

- ・観察して気付いたことや思ったことなど、文章に書きたい事柄を集めることができる。 【書くこと ア】
- ・観察したメモを基に、語と語との続き方に注意してつながりのある文章を書くことができる。 【書くこと ウ】
- ・観察記録文を読み合い、お互いの文章のよいところを見つけて感想を伝え合う。 【書くこと オ】

言語活動

自分のお気に入りの虫の様子を伝えるために、観察記録文を書く。

「課題発見・解決学習」の過程(全7時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力	
<p><b>課題の設定(1)</b></p> <p>○「むし大はっけん」として文章にまとめることを知り、学習の見通しを立てる。 ・生活科「いきものとなかよし」の学習や自分の体験を想起しながら、身の回りにはいる虫を観察して、気付いたことを文章に書くという学習課題を確認し、「学びのモニタリング」の視点を共有する。 ・虫について気付いたことを書いた文章をたくさんの人に読んでもらいたいという意欲をもつ。</p>	生活科「いきものとなかよし」での飼育活動	
<p><b>情報の収集(2)</b></p> <p>○「はっけんメモ」の書き方を知る。 ・「はっけんメモ」に記録する項目を確認し、多面的な観察の観点を理解する。 ○観察記録文を書くために必要な事柄を集める。 ・気付いたことをメモ(付箋)に書き、「かんさつめいじんシート」に集める。</p>		思考力
		主体性

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<b>常時活動</b> ・観察記録文に書き入れたい日々の気づきを付箋に書き、「かんさつめいじんシート」に集める。	主体性
<b>整理・分析（１）</b> ○メモの中から、文章に書きたいものを選び整理する。 ・「かんさつめいじんシート」の中から書きたいメモ（事柄）を選び出し、「くみ たてシート」にはる。	思考力
<b>まとめ・創造・表現（１）</b> ○「くみたてシート」を基に観察記録文を書く。 ・メモを基に語と語とをつなげて文章を書くことや観察したことを記録する文章 に、思ったことを書き加えることを理解する。	思考力
<b>振り返り（２）</b> ○作品を交流し合う。 ・書いた文章を読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合う。 <b>【本時】</b>	自己理解
<b>常時活動</b> ・清書した「むし大はっけん」を掲示して、読んでもらった人に感想カードを書いても らう。	
<b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「学びのモニタリング」の視点で、「かんさつめいじんシート」 や観察記録文を基に自らの学びを振り返る。	自己理解

生活科「いきものとなかよし」での飼育活動

